

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

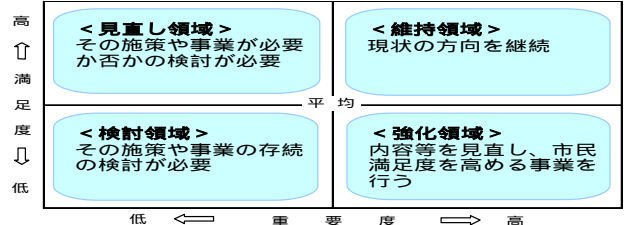
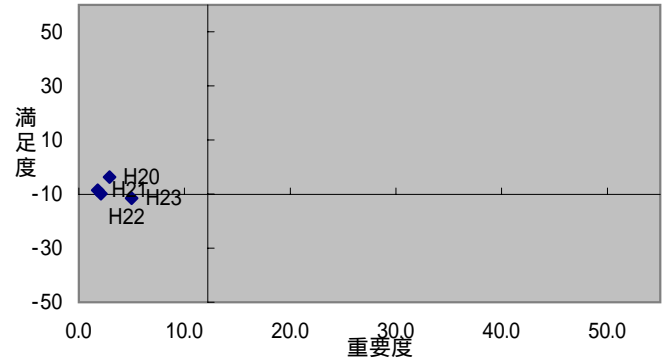
施策名 (小項目)	成人教育	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-02-03		氏名	末長章彦
				電話	64-1841
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	地域文化と人が輝くまちづくり
	基本施策(中項目)	生きがいのあるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	すべての市民が様々な機会や場を活用し、自らの学習意欲を満ち、生活を豊かにする。また、社会教育団体が研修や実践活動を通して資質の向上を図ることを支援し、社会参加の促進を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	心豊かで生きがいのある人生を送るための学習機会の提供では、学びのニーズ多様化により把握が困難だが、実生活に即したものを提供する。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 学習情報の提供 学習機会の拡充 企業地域との連携 各種学級・講座の充実 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	2.9	1.8	2.1	5.0
満足度(%)	- 3.7	- 8.6	- 9.9	- 11.5



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 [調査対象でない施策は、市民の反応等]
 市民意識調査では、男性は重要度を高くかつ満足度が低く回答され、女性は重要度はあまり高くないものの満足度が高く回答されている。男性はなかなか参加し辛いに関心はある、施策となっている。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 自発的な学習に取り組んだり趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合	目標	%	35.0	35.0	35.0	H23	35.0
	実績	%	32.3	34.9	32.3	H28	35.0
	達成率	%	92.3	99.7	92.3	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 この1年で何らかのボランティア活動を行ったことのある市民の割合	目標	%	50.0	50.0	50.0	H23	50.0
	実績	%	36.4	38.0	32.0	H28	50.0
	達成率	%	72.8	76.0	64.0	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 図書館イベント参加者数	目標	人	10000	10000	10000	H23	10,000
	実績	人	5268	8041	5445	H28	9,000
	達成率	%	52.7	80.4	54.5	-	-
	ベンチマーク						
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への貢献度
				平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度	
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	当初予算(直接事業費)	
1 生涯学習推進事業	B	生涯学習推進委員会運営事業	単市	0	304	0.04	-	-	-	-	-	-	59	
		県民フェスティバル開催事業	補助	0	2,014	0.23								* H20終了
		子ども情報センター運営事業	単市	652	1,214	0.16	646	1,972	0.26	617	2,312	0.25	686	
		公用車管理事業	単市	256	76	0.01	104	76	0.01	206	78	0.01	199	
		生涯学習課管理運営事業	単市	127	531	0.07	165	789	0.10	153	763	0.08	236	
		子ども読書活動推進フォーラム開催事業	単市				0	1,517	0.20					* H21終了
子ども読書計画推進事業	単市				0	1,972	0.26	0	1,537	0.19	0			
2 奨学資金貸付事業	D	奨学資金貸付金給付事業	法定	4,560	2,125	0.28	2,282	1,896	0.25	3,482	1,493	0.19	6,602	
3 PTA連合会支援事業	C	備前市PTA連合会補助事業	単市	84	76	0.10	80	76	0.01	80	188	0.02	80	
4 人材養成講座事業	B	人材養成講座事業	単市	0	0	0.00	42	152	0.02	40	94	0.01	46	
5 社会教育事業	B	社会教育委員活動事業	単市	171	720	0.07	207	455	0.06	185	624	0.07	284	
		社会教育指導員活動事業	単市	1,388	0	0.00	1,381	0	0.00	1,381	0	0.00	1,398	
		教育の日関連事業	単市	288	768	0.08	64	1,017	0.13	54	1,325	0.14	67	
		成人式運営事業	単市	358	1,508	0.19	275	1,548	0.20	296	1,992	0.22	378	
		学校支援地域本部事業	単市				0	1,548	0.20	0	1,755	0.22	1,800	
6 婦人協議会支援事業	C	備前市婦人協議会補助事業	単市	216	152	0.02	216	228	0.03	216	469	0.05	216	
				平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度	
				8,100	9,488	1.25	5,462	13,246	1.73	6,710	12,630	1.45	12,051	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	市民一人ひとりが学習意欲を満ち生活を豊かにするとは、発展した自己の能力を発揮する場があってはじめて達成感が得られるもの。自主的に参加する市民の割合は評価指標として妥当性がある。発現の場を考えて、学んでは発揮しそれが循環していく社会を目指す。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	県の委託事業に応募し20年度から備前中において学校支援地域本部事業に取り組んできた。人材養成講座や各種ボランティア研修で習得した知識を発揮し、地域を巻き込む活動になるよう期待したい。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	市民意識調査でなんらかのボランティア活動をしたことのある人の割合が、前年より下降した。生涯学習事業を実施する中で、市民のボランティア意欲の高まりを感じているだけに意外な結果となっている。より参加しやすい活動を考え、新たな発現場所を作っていく必要がある。	
進行年度(H23年度)の取組内容(課題解決状況)		学校支援地域本部事業は市の事業(補助)となり、中学校(備前中・伊里中・三石中)という発現の場所で地域のボランティアが子どもたちと共に力を発揮していく取組みを実施する。	
翌年度(H24年度)の取組目標		学校支援地域本部事業を市内全中学校区に拡大していく。	
二次評価者コメント		色々なことができる人とか何でも良く知っている人はたくさんいる。できるのにする場所が無い、したいのにどうやってやっていいかわからないと感じている人に、実践方法・実践場所を提供し、市民全てが社会に貢献していることを実感してもらい取組みが、成人教育の目指すところと考える。	
役職 氏名	教育次長 竹中史朗		

基本施策への貢献度
4 やや高い